

つめ替えの前に必ずお読みください

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。



つめ替えのポイント

- カートリッジ内のインクがなくなってしまうにつめかえを行ってください。つめ替えしてもプリントヘッドのインク供給に時間がかかり、しばらく印字しない場合があります。
- 長期間プリンタをお使いになっていない場合、つめかえを行う前に必ず印字できるかどうかご確認ください。
- 乾燥しやすい場所では、作業しないでください。プリントヘッドやインクが凝固し故障の原因となる恐れがあります。

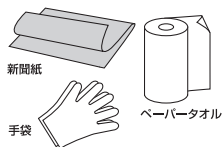


つめ替えのタイミング

インクのつめ替えはインクエンド表示「インク コウカンシタサイ」がモニターに出たらつめ替えしてください。他の色でインク残量(少)「インク ノコリスコシ」の表示が出ているカートリッジがあったら同時につめ替えしてください。

準備

- つめ替えの時にインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上で作業を行ってください。
- 手や着衣にインクがつかないように付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



確認

- 長期間プリンタを使っていない場合は、必ず印刷できるか確認してください。また、取り外して放置されたカートリッジは、インクが正常に出て、印刷できるか確認してください。正常でないカートリッジをつめ替えても印字不良となります。

つめかえ回数

- つめ替えによるカートリッジの再使用は3~4回までが適当です。それ以上のつめ替えはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

つめかえ後のクリーニング

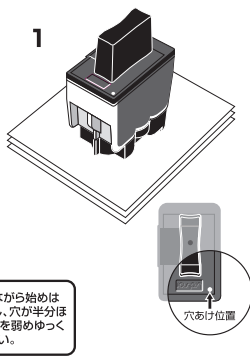
- クリーニングの繰り返しはインクが消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止して、トラブルシューティングを参照してください。

つめ替えの手順

1

カートリッジにインク注入口をあける

1. ペーパータオルなどの上にプリンタから取り外したインクカートリッジを置き、上フタの矢印で示す場所にポケットドリルで穴をあけます。
2. ポケットドリルを時計方向に回しながら、始めは強い力で押し回してください。穴が半分程度あきましたら、力を弱めゆっくりと回してください。



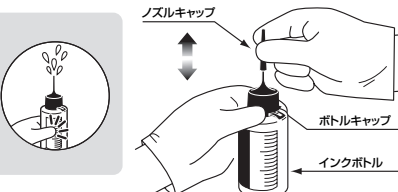
2

インクボトルのゴムキャップを外す

手袋(5)を着用します。インクボトルのゴムキャップを取り外したり開めたりする際は、ノズルの根本をしっかりと押さえるから、垂直方向に動かしてください。

注意

インクボトル部分は絶対に押さないでください。押さえるとインクが飛び出すことがあります。(ゴムキャップを開める際はノズル先端から1cm程度差し込んでください。)



3

インクを注入する

インクボトルのノズル先を水平より上に持って、ドリルで開けた注入口にノズルの先端を合わせます。そのままインクボトルが垂直になるように起こして差し込みます。ボトルをゆっくり絞ながらインクを注入します。

注意

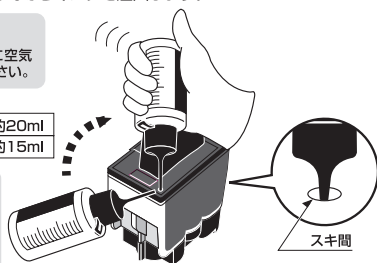
注入中は注入口とノズルの間に空気逃げのスキ間を必ず開けてください。

インク注入量の目安

ブラックカートリッジの場合	約20ml
カラーカートリッジの場合	約15ml

注意

上記注入量はインクを使い切ったときの推定量で、お使いの状況やつめ替えをするタイミングにより変わります。



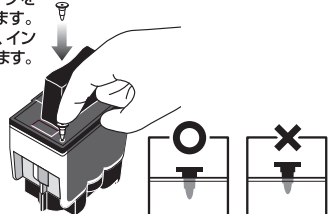
4

注入口にプラグを差し込む

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグを注入口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりと栓をします。

注意

注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと空気が入り、インクが供給口から流れ出てプリントが正常に行かない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。



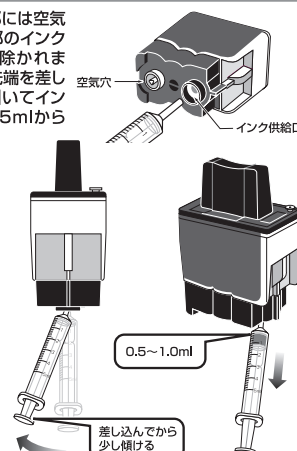
5

カートリッジの内部調整(インクの引き出し)をする

カートリッジのインク供給口の内部には空気が気泡となって残っています。内部のインクを少量抜くことによりこの気泡が除かれますので、インク供給口に注入器の先端を差し込み、少し傾けてからピストンを引いてインクを抜き取ってください。量は0.5mlから1.0mlが適量です。

注意

抜き取ったインクはティッシュペーパーや不要な布などに吸い込ませてから破棄してください。



6

カートリッジ確認動作

カートリッジをプリンタ本体に取り付けた後に操作パネルの液晶ディスプレイに確認メッセージ(イラスト)が表示された場合は「ハイ」を選択してください。

注意

「ハイ」を選択しなかった場合、残量データがリセットされず、インクエンドの残量を正しく把握できなくなります。

インク ラ コウカンシタサイ

ハイ イイエ

※イラストはブラザーDCP-110Cの液晶画面です。

7

クリーニングと印字テスト

カートリッジをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行い、ノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。

注意

クリーニングの繰り返しはカートリッジの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

2回目からは

プラグを抜き取り、③~⑥の手順でつめ替えを行ってください。

注意

外したプラグは再度使用しますのでしっかり保存してください。

つめ替え回数

つめ替えインクによるカートリッジの再使用は、3~4回までが適当です。それ以上のつめ替えは、インク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめ替えたカートリッジの使用を止めて、新しいカートリッジをお使いになることをお勧めします。

つめ替えが終わったら

- つめ替えた後の残ったインクは、キャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け、涼しい所に立てて保管してください。
- 注入器は付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからバケージに入れ保管してください。